

## 目標達成計画

作成日: 平成 31 年 4月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流が未だ少なく、自治会役員や民生委員などから、地域の福祉ニーズを把握し、保育園、幼稚園、小学校との交流、小中高の職場体験やボランティアの受け入れ、認知症講座の開催など、地域の交流をしていく。	地域とのつながり、交流を深め輪を広げる。	運営推進会議の際に、自治会役員や民生委員などから福祉ニーズの把握に努める。ボランティアの受け入れ、交流についてはフロア毎に担当者を作り、月1回会議を開催し、地域とのつながりを広げていく。	3ヶ月
2	4	運営推進会議の参加者が少なく、開催場所が手狭である。	地域の集会場を確保し、協力医師などの知見者や利用者、家族に働きかけて参加者を充実させていく、また出来るだけ詳しくて分かりやすい議事録を作成して家族に配布し、理解促進と参加促進を図る。	出来るだけ詳しく分かりやすい議事録の作成、活動状況が分かるようなホーム新聞を作成し家族に配布していく。	3ヶ月
3	10	家族にホームでの活動内容が周知されていない現状が見受けられている。	現在、ホーム便りの発行はしておらず、今後家族の要望に沿って、利用者個々の様子を写真や文章で記載し、連絡事項も含んだ便りを作成する。	毎月家族へ手紙を居室担当者より送付するとともに「つながり城北新聞」ホーム便りを同封し、ホームでの活動の理解促進と意見、要望の把握に努める。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。